

家庭ごみマイナス100gの目標期限の延長について

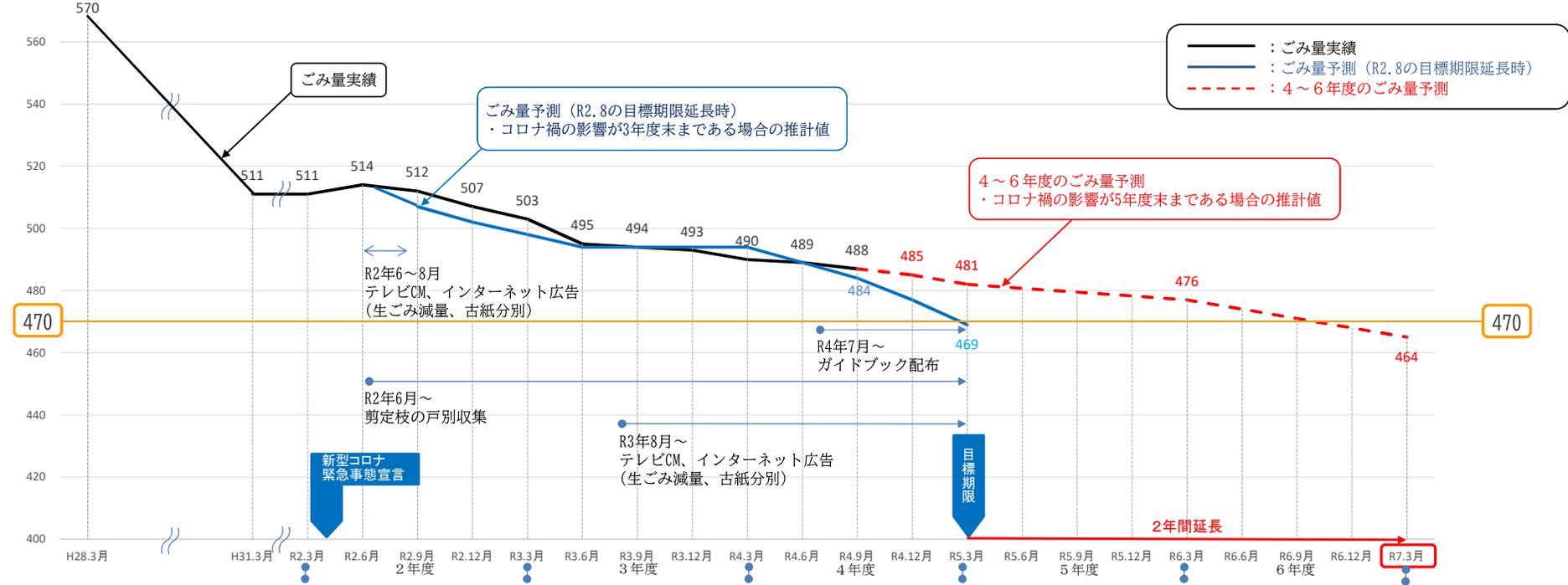
令和4年10月20日
清掃事業審議会報告（説明）資料No. 2

1 新型コロナウイルスの影響による家庭ごみ量とマイナス100gの目標期限について

新型コロナウイルスの影響による外出自粛など、市民生活に変化が生じ、令和2年度当初の家庭ごみ量が想定外（前年度比1.6%増・年間7g増）となったことから、目標期限を2年8月に2年間延長し、5年3月までとした。

その後の家庭ごみ量は、「剪定枝資源化事業」や「みんなで取り組むごみ減量PR事業」等の効果で減少傾向にあるが、依然としてコロナ禍の終息が予測できないことから、目標期限を2年間延長し、7年3月までとする。

2 家庭ごみ量の実績と今後の推移



		R 2	R 3	R 4 (見込み)
家庭ごみ量の影響		△8 g	△13 g	△9 g
内訳	① 新型コロナ	(※1) +7 g	—	—
	② 剪定枝資源化事業 みんなで取り組むごみ減量PR事業 3R推進事業 等	△15 g	△13 g	△9 g
	1人1日当たり家庭ごみ量 (年度末)	503 g/人日	490 g/人日	481 g/人日

(※1) +7g : 令和2年3月から7月までの1人1日当たり家庭ごみ量は前年度比1.6%増で年間7g増に相当